

# 海の日と同じ日に「名称は「信州山の日」

## 「山の日」で意見書

### 懇話会が知事に提出

県が独自に制定を目指していた意見書を提出した。

している「山の日」について、大学の有識者や山小屋関係者などで組織する「懇話会」のメンバーが3日、県庁を訪れ、阿部守一知事に、時期や名称について記

した意見書を提出した。

懇話会は2回の会合を経て、意見書をまとめた。時期については「7月下旬から8月上旬」とした上で、祝日の「海の日」（7月第3月曜日）と同じ日にする

県は、県議会の9月定例会で考えを公表した後に、パブリックコメントを募集する予定。年末までには制定して、来年の夏には初の「山の日」を迎えることになる。「山の日」には、山に関連するイベントが数多く企画される予定だが、法改正が必要なこともあり、祝日にはならないという。

（懇話会代表）



意見書を阿部守一知事に提出する「山の日」懇話会の鈴木啓助座長（右）＝長野市の県庁

一方で、「海の日」は梅雨が明けにくい場合が多い。「長野県の学校では、海の日子どもたちが夏休みに入っていない」などとする否定的な意見もあり、併記してある。

名称は、第1候補に「信州山の日」、第2候補に「山の日」を挙げた。

意見書を提出した懇話会の座長で信大山岳科学総合研究所の鈴木啓助所長は「長野にある山の恵みを生かし、山の素晴らしさを考